

萩市立明倫小学校 校長室だより

学校教育目標： 人としての生き方を学び、共に高まり合う子どもの育成

チャレンジ目標： ～明倫小A：気持ちのよい7mあいさつ～

～明倫小B：友だちを思いやる美しい心と校舎内外の美しい環境づくり～

～明倫小C：目標や志をもち、達成に向けて進んで取り組む子どもの育成～

伸びる力

2019, 11, 5(火) No.21



「心の宝物」を増やそう！～読書のすすめ～



「きらら」の活動の様子

々のお陰です。子どもたちに見やすいように大きな絵を用意してくださったり、子どもたちの発達段階に応じた内容の本を選んでくださったりしていただいています。また、本の修理をしてくださっているボランティア「ひだまり」もあります。破損した本を修理してくださっているグループです。とてもありがたいことです。心から感謝したいと思います。この時期の夜長を15分～30分程度でもいいので、ご家族で「読書の時間」として設定されてみてはいかがでしょうかでしょう。今年は、10月27日（日）から11月9日（土）までが、読書週間となっています。

ところで、「本を読んで甲子園に行こう」（ポプラ社 村上淳子）という本をご存知でしょうか？この本をご紹介しますと……、

『「野球と読み聞かせ、何の関係があるの!？」「高校生に読み聞かせ?」と、たいがいの方は思われるようです。これは静岡県に実在する常葉学園橘高校の野球部の記録です。市内の中学校を出た生徒がほとんどの、特別野球がうまいわけではない、普通の高校の、普通の生徒たちの野球部。そんな野球部の監督が練習に取り入れたのが、「読み聞かせ」だったのです。そうです。常葉橘（とこは たちばな）……甲子園の高校野球中継でその名前にご記憶の方もおられるのではないのでしょうか。（夏の全国大会で3回、甲子園に出場している高校です。）

この高校の強さは、そのメンタルの強さです。スポーツでは技術力だけでなく、メンタルもとても大切です。野球部員たちは、はじめ、「なんで絵本やねん!？俺ら高校生やぞ!」と思ったそうです。しかし、著者である村上先生が「ゆずちゃん」という絵本を読み聞かせしたとき、すっと立って、帽子をとって、「ありがとうございますす!!」と礼儀正しくお辞儀をするはずの野球部

コスモスの花が風に揺れる素敵な季節となりました。「つるべ落とし」と言われるように日暮れがとても早くなりました。夕暮れから寝るまでの時間を家族で有効に使うことができる季節ではないかと思えます。

毎週金曜日の朝は、全校一斉の朝読書を実施しています。また、図書ボランティア「きらら」の方々による読み聞かせも同時に行っています。読み聞かせの時、子どもたちは、とても嬉しそうに熱心に聴き入っています。子どもたちは読み聞かせが大好きです。このような機会があるのは、図書ボランティアの方々



「ひだまり」の活動の様子

員たちが、うつむき、顔をあげられなかったのです。泣いているところを友だちに見られるのが恥ずかしかったのです。そして、読み聞かせが凄いのではなく、読み聞かせを通じて成長していった子どもたちが凄いの、と村上先生はおっしゃっています。監督のこの言葉もご紹介します。「スポーツをやる目的の1つは、人を思いやれる心を育てることです。相手の心も読めないような人間に、野球の醍醐味は分かりませんね。こうしたことをいかにげんにする気持ちでやっているのは、決して強くはなれないし、その道を極めることもできません。」（これは、野球に限ったことではありません。スポーツ全てに通じることです。）・・・「感動が心を育てる」と信じて、大会の前日まで読み聞かせを続けた村上先生。野球部員と村上先生の、読み聞かせを通しての心の交流と、そして野球部員たちの心の成長の物語が、優しい文体で綴られています。朝練をやめて、毎日、朝読書と読み聞かせを取り入れた監督の決断と、その思いも胸に迫ります。』このような内容の本ですので、とても、おすすめな一冊です。

今年度の全国学習状況調査の中で「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間読書を読みますか。（漫画や雑誌は除く）」という項目がありました。30分以上読書をする割合を見ると、本校では38.0%でした。山口県平均が38.9%、全国平均が39.8%となっており、本校は、全国平均や山口県平均よりも低い状況にあることが分かります。この結果を見ると、保護者の方からの読書について子どもにもっとアプローチする必要があるのではないかと思います。テレビやゲームを少しやめてみて、「家読」に継続して取り組まれてみてはいかがでしょうか。

前述しましたが、秋の夜長を有効に活用し、読書に親しむことで、「心を耕し、心の宝物や心の強さを増やすこと」ができるのではないのでしょうか。

「就学時健康診断」 ピカピカの1年生をめざして



10月30日（水）に来年度入学する子どもたちのための「就学時健康診断」を行いました。

この行事は、学校保健安全法に示されており、入学する子どもたちの健康の保持増進を図るために実施するものです。学校医さんによる検診や視力・聴力などの検診を行いました。108名の子どもたちが受診しました。子どもたちの受診の手伝いをしてくれたのは6年生です。少し手を焼く入学する子どもたちもいましたが、お世話する6年生は、自分を抑え、一人ひとりの子どもたちを優しく丁寧にお世話してくれました。お陰で全員の健康診断を終えることが

できました。ありがとうございました。

また、子どもたちが検診を受ける間、保護者のみなさんは、宇部フロンティア大学保育学科教授 伊藤一統先生の「子育て講座：子どもとともに～あそび、愉しみ、語り、まなぶ～」の講演を聴いておられました。来年の2月には仮入学が予定されています。ピカピカの1年生として元気で入学してくれることを今から楽しみにしています。

※ 学校経営・校長室だよりへの保護者・地域の皆様からのご意見・ご感想をお待ちしています。
年 組 児童氏名（ ）

